

今月の安全運転管理

「交通安全宣言」 本年も 無事故・無違反 心に刻む

- ◆ 全社を挙げて安全意識を高めよう
 - 全従業員参加の安全活動を実施
 - 「交通安全スリーS運動」で歩行者事故防止!
- ◆ 自転車事故防止のための対策を講じよう
 - 自転車通勤は許可制にして利用規則を設ける



全従業員参加型の活動で 安全意識を醸成する

明けましておめでとござい
います。決意が新たになる機
会を活かし、全従業員参加の
交通安全活動を実施しまし
よう。

たとえば、過去の事故情報
や従業員からの報告に基づき、
事業所周辺のヒヤリハットマ
ップを作成します。そして、注
意が必要な箇所に対して管理
者含む全従業員が、持ち回り
で立哨活動を行ってみてはい
かがでしょうか。

また、ある事業所では、全従
業員から交通安全標語を募
集し、特選・入選作を選出、社
内報や社内イントラネットで
周知するといった取組を実施
しています。

運転者だけでなく、従業員
の誰もが参加することができ
る安全活動を実施し、社内全
体の交通安全意識を醸成し
まします。

交通安全スリーS運動で 歩行者事故防止!

愛知県警が発表している
過去五年間の統計を見ると、
一月中旬から下旬にかけて交
通事故による死亡事故が多
発する傾向にあります。この
うち、約四割を歩行者が占
めます。

JAF(一般社団法人 日本
自動車連盟)が行っている調
査によると、県下における「歩
行者のいる信号機のない横断
歩道での車の一時停止率は
三十一・五%と、未だに六割以
上の運転者が横断歩道の手
前で一時停止をしていません。
そこで、愛知県警が展開す
る「交通安全スリーS運動」
を実践して、交通事故防止に
取り組まします。

・「Stop(ストップ)」
横断歩道や交差点では歩
行者優先
・「Slow(スロー)」
子どもや高齢者を見かけ

たら速度を控える

・「Smart(スマート)」
思いやりをもった運転

この「三つのS」を事業所間
で周知して、歩行者事故防止
に努めまします。

自転車の業務、 通勤使用の規則を徹底

コロナ禍において、全国的
に自転車通勤者が増加してい
るなかで、自転車事故は多発
傾向にあります。

そのため、業務通勤で自転
車を使用している事業所で
は、社内規定を作成し、規定
に基づいた管理を徹底して
ください。

規定には、管理者による安
全講習を実施し、受講が自
転車通勤の許可条件とする
ことのほか、ヘルメットの着
用、交通ルールの遵守、保険
加入(自治体によっては義務
化されている)等を盛り込み
ます。